

議会だより



第3回定例会 表紙写真:紀の国わかやま国体「ロード・レース」

新議会構成(臨時議会).....	P2~P3
議案審議.....	P4~P5
一般質問(4名が登壇).....	P6~P10
委員会報告.....	P11
文化協会(カメラクラブ).....	P12

新議会構成が決まりました

議長に堀口晴生氏、副議長に玉置克彦氏が続投

平成27年9月3日の印南町第1回臨時議会において、全会一致（指名推選）で議長・副議長が決まりました。



議長 堀口 晴生

引き続き第15期後半の印南町議会議長の職を拝命し、責任を感じますと共に皆様方には心から感謝を申し上げます。次第でございます。

この上は、さらに精進、努力を重ね、議会の円滑な運営に努めバランスのとれた調整を心がけて参りたいと思っております。また18年の議員経験を生かしながら、常に行政と町民の皆様方の

パイプ役となり、議会、執行部ともに協力しつつも是々非々論議しながら、住みやすい生きがいのある町づくりに向けて、真摯に取り組んで参る所存でございます。

さらに皆様方のご支援を頂戴いたし、責務を全うしたいと存じますので何卒ご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 玉置 克彦

このたび、臨時会におきまして、引き続き副議長に就任させていただくことになりました。

前回にもまして責務の重大さを痛感している次第でございます。

元より浅学非才ではございますが、与えられました職責を果たすべくさらに努力・精進させていたたく所存でございます。

町民の皆様の声が行

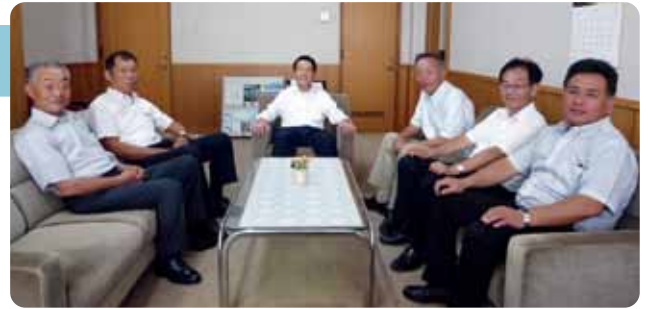
政に届く議会として、ますますの町の活性化と住民が安心・安全に暮らせるまちづくりに向けて粉骨砕身、頑張ってまいる所存でございます。

今後とも皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

各委員会構成

総務産建常任委員会

委員長 藤本 良昭
副委員長 中島 洋
委員 榎本 一平・野村 正明
岡本 庄三・堀口 晴生



文教厚生常任委員会

委員長 前田 憲男
副委員長 杉谷 考祥
委員 藤薮 利広・村上 誠八
井上 孝夫・玉置 克彦



議会運営委員会

委員長 榎本 一平
副委員長 野村 正明
委員 杉谷 考祥・井上 孝夫
前田 憲男



議会広報特別委員会

委員長 榎本 一平
副委員長 中島 洋
委員 藤本 良昭・藤薮 利広
井上 孝夫・前田 憲男

一部事務組合議会議員(印南町第3回定例会で決定しました。)

- ・ 御坊広域行政事務組合 村上 誠八
- ・ 御坊市外五ヶ町病院経営事務組合 藤本 良昭
- ・ 日高広域消防事務組合 杉谷 考祥
- ・ 御坊日高老人福祉施設事務組合 玉置 克彦
- ・ 和歌山県後期高齢者医療広域連合 堀口 晴生

平成27年第3回定例会（9月議会）

9月10日に開会し、16日に閉会しました。上程議案22件（条例2件、予算4件、その他6件、決算8件、請願1件、意見書1件）を慎重に審議しました。

マイナンバー制度の実施に伴い「個人情報保護条例の一部改正」議案を可決。

10月からマイナンバー制度が始まります。全住民に対して12桁の個人番号をお知らせする通知が役場から届けられます。

この制度の実施に伴いこれまでの「個人情報保護条例」にマイナンバー制の個人番号などを含む個人ファイルやデータなどの項目を追加するために条例を改める議案です。

質疑

年金機構の個人情報125万件が漏洩した問題が大きな社会問題になりました。

個人情報情報を保管する所を基幹系ネットワーク、インターネットにつながっている部分は、情報ネットワークと言います。マイナンバー制度で対応する場合、この2つのネットワークが遮断されていなければ、ネットを通してサイバー攻撃を受け、個人情報情報が漏れる危険性があります。

当町では、この対応は厳密にされていますか。

また遮断されていて基幹系ネットワークをコピーしてネットワークで作業をすれば同じことですが、この対応はきちんととられていますか。

答弁（総務課長）

基幹系と情報系は、現在でも分断されています。

基幹系の情報のコピーは年金の個人情報漏洩に繋がりました。

当町は情報保護の観点から強く禁止し、所属長が安全対策を監視しています。

質疑のあと採決がとられ、9対2で可決しました。

新庁舎建設工事契約の議案を可決。

新しい役場を建設する工事契約の議案が提案され、全議員賛成で可決しました。

今回の入札では、和歌山県内14社を選定し、入札の辞退が5社あり、9社で平成27年8月12日に入札を行いました。

その結果、和歌山市内の株式会社浅川組が落札率87.49%で落札しました。

質疑

新しい役場建設に関わり、当初予定した設計価格などと比較して、どれほどの予算を節約できていますか。

答弁（企画政策課長）

約5000万円近い事業費の圧縮をもって設計価格を設定しています。

3回目の一般会計補正予算が組まれました。1億295万7千円が追加されて、総額69億5千561万2千円に。

質疑

切山集会所改修地元協力で、総工事が400万円程度のうち一般財源で117万円、保険200万円程度、地元負担金86万円というところで、約2割の負担金の説明をお聞きします。

答弁（総務課長）

負担割合で、共済掛け金の歳入で200万円程度、残りの額につきましては、今年度か

ら実施の長寿命化の補助金、地元3分の1、町3分の2であります。が、割合が地元が高く なっている部分は該当 しない部分がありまし て、地元区長さんと協 議した結果、割合を決 定しました。

質疑

今後改修していく際 も見積金額に対しての 比率で地元負担が要る 格好になるのですか。

答弁（総務課長）

今年度からの長寿命 化の町単独の補助金で、 向こう5年間実施いた します。その制度につ きましては、3分の2 が町、地元は3分の1 で、限度額としまして、 町の補助金は200万 円が上限でございます。

ので、そのルールを守っ ていきたいと考えてご ざいます。

質疑

地元協力金と説明欄 に出ていますが、負担 金ということ、答弁 があつたと思えますが、 負担金となれば、徴収 条例とかは要らないの ですか。

答弁（総務課長）

今回の場合、有利な 災害共済金を利用する 中で、予算措置は町の ほうですというルー ルになってございます。

質疑

防災諸費、52万4千 円、メール対応の詳し い内容を説明していた きたい。

答弁（総務課長）

職員参集のシステム でございます。今、電 話等を活用しています

が、それをメールで実 施するというものでご ざいます。

決算認定は特別委員 会で審査を行って います。

毎年9月議会には、 行政側から資料などを 添付され前年度予算の 決算認定が提出されま す。

決算認定とは、前年 度の一般会計をはじめ 特別会計予算に対して、 少ない予算で効率の良 い行政運営がなされて いるかどうか議会が審 査し認定することです。

昨年と同様、議長と 議会から選出の監査委 員1議員を除く10人の 議員で決算特別委員会 を設置。

12月議会までに審査 し、委員長がその内容 を本会議で報告します。

委員長に藤本良昭議 員、副委員長に玉置克

彦議員を選出しました。

9月議会に提案され た他の議案5議案を 可決しました

●和歌山県市町村総合 事務組合を組織する 地方公共団体数の減 少及び和歌山県市町 村総合事務組合規約 の変更

●平成27年度印南町国 民健康保険事業特別 会計補正予算

●平成27年度印南町介 護保険事業特別会計 補正予算

●平成27年度印南町簡 易水道事業特別会計 補正予算

●国際平和支援法案と 平和安全法制整備法 案の慎重審議を求め る意見書

■請願
「安全保障関連2 法案の廃案を求める 意見書採択について の請願」は不採択と なりました。





こんな一般質問がありました



質問議員名

榎本 一平 議員 / 7ページ

質問内容

1. 林道本川西神ノ川線の土置場からの土砂流出対策の対応を
2. 櫻川地区の風力発電計画を問う
3. 住民の命を守る防災対策の充実を

質問議員名

玉置 克彦 議員 / 9ページ

質問内容

1. 次期日裏町政に向けて
2. 防犯カメラの設置につて

質問議員名

藤薮 利広 議員 / 8ページ

質問内容

1. 風力発電について
2. 内水対策について

質問議員名

中島 洋 議員 / 10ページ

質問内容

1. 消防団の処遇改善について

ここが聞きたい!



林道本川西神ノ川線の土砂流出対策を問う

榎本 一平 議員

質問 7月の台風において、過去の林道本川西神ノ川線の工事が発生した盛土の現場から大量の土砂が下流に流れ、シキミなどを栽培している畑に流れ込む被害が発生しました。

被害を受けた農家の通報を受け、行政にも何度か現場を見て頂きました。

今後、土砂流出を防止する対策をとるよう求めます。

答弁 建設課長

盛土のある土地所有者とも話をしましたが、所有者は管理できない状況です。県と相談し対策について検討しています。

榎川地区の風力発電計画を問う

質問 榎川区の町有地と区有地に発電出力が2,000kwで13基の2万6,000kwの風力発電建設が予定され、環境影響評価書の告示、縦覧が8月28日まで行われました。

本年2月2日、印南風力発電株式会社が設立され、2月24日に町とこの株式会社との間で環境保全協定が結ばれています。

今回の建設計画では、町有地がありますが、借地料などをはじめ、どのような対応となっておりますか。

答弁 企画政策課長

町有地については、「事業用定期借地権」の設定で業者と協議を進めています。

業用定期借地権」の設定で業者と協議を進めています。



風力発電

質問 町と環境保全協定を結んでいる印南風力発電株式会社は従業員数、資本金の小さな業者ですが、大丈夫ですか。環境保全協定は地元区と新会社の三井造船との間で交わすべきではないでしょうか。町の考えは。

環境保全協定は地元区と新会社の三井造船との間で交わすべきではないでしょうか。町の考えは。

答弁 企画政策課長

本事業者につきましては、三井造船株式会社が100%出資により設立

された事業者です。

本事業者は事業着手後、資本金の増資を行う予定です。環境保全協定は、基本的に地元区と事業者間で協議し決定するものと考えます。

災害から町民の命を守る対策強化を

質問 地震発生時、町民が高台へ避難するため避難道整備は住民のスムーズな避難、消防救護活動など色々な分野に影響を与えます。

避難道の整備では避難誘導灯の整備を優先して取り組んできました。地域のワークショップ等でも、空き家対策や、危険ブロックに関する話がありますが、現時点では情報データの整備には至っていないのが現状です。

答弁 総務課長

避難道の整備では避難誘導灯の整備を優先して取り組んできました。地域のワークショップ等でも、空き家対策や、危険ブロックに関する話がありますが、現時点では情報データの整備には至っていないのが現状です。



一般質問



風力発電について

藤藪 利広 議員

質問 施設の設置、運営方法についてお聞きします。

答弁 企画政策課長

印南風力発電株式会社
社が設置、運営をします施設の設置計画は、2000kwが13基で風力発電敷地は、約3・25haです。

質問 災害協定、健康被害協定及び災害健康被害等々が発生した場合の対処方法はどのようになりますか。

答弁 企画政策課長

印南風力発電株式会社との間で環境保全協定を2月24日付けで印南町と締結しています、風力発電施設が原因で地域住民に被害を及ぼしたと合理的に認めら

れた場合は加害の原因の調査・除去・原状回復、その他適正な措置を講ずることとなります。

質問 既設林道について

の災害時等の緊急対応はどのように行われますか。

答弁 企画政策課長

環境保全協定の条文の中に災害防止計画を設けています、異常気象による豪雨や大規模地震による自然災害、落雷等による林野火災等についても、対策を講じるよう指導することとなっています。

質問 補助金等の返還

対象となる作業道はありますか。

答弁 産業課長

平成19年から21年の森の力再生サポート事業については事業完了から5年を経過しているため補助金の返還等には当たりませんが、平成22年度実施の紀の国森林づくり事業、間伐事業は事業完了から5年以内で補助金返還対象になります。

内水対策について

質問 商業施設周辺道路

路が毎年のように冠水しています。昨年農水路の土上げを提案いたしましたが、その後関係者との話し合いの結果はどの様に成りましたか、今後土上げをするようであれば定期的に行いますか。抜本的な対策を講じ

る考えはありますか。

答弁 建設課長

現在、用水路から水を使って田畑を経営している農家がないなど管理について積極的な回答を頂けない状況です、土上げについては、地元区において主体的に一斉清掃時など利用して水路の維持に取り組んでいたところ。また農業施設の管理は受益者が責任をもつて行うのが原則です。

町道の冠水の抜本的

な対策方法については、極めて困難な課題であり今後引き続き冠水の状況を見て安全対策に努めたいと考えています。



商業施設周辺内水



次期町長選出馬を問う

玉置 克彦 議員

質問 残任期間も6カ月を切りましたが、改めて町長の出馬についてのお気持ちを伺いします。

一期目の日裏町政は住民目線に立った強靱で安全・安心なまちづくりを柱として、近い将来起こるであろうと警告されています。

一期目の日裏町政は住民目線に立った強靱で安全・安心なまちづくりを柱として、近い将来起こるであろうと警告されています。

大地震などへの対応として、避難路整備や橋の耐震化、印南地区避難センターの建築、同地区への排水ポンプの整備等、町民が安心して暮らせるまちづくりを具現化しています。

中でも防災対策のシンボルでもある新庁舎建設事業につきましては、平成29年4月執務スタートが現実的となってきました。このように精力的に行政を推進しております。

こと、大変敬意を表す次第です。

また、町内各種団体や区等から来年2月任期満了に伴う印南町長選の出馬要請を受けているとのことですが、次期町長選に出馬するお気持ちはございませんか、お聞かせください。

答弁 町長

就任から約3年半が過ぎ、強靱で安全・安心なまちづくりを中心としてやってきたと思います。私自身無我夢中で取り組んで参りました。

住民の声を聞くということは私の基本理念でございます。これからの町政につきましても、十分町民の声を聞いて運営を図っていききたいと考えております。

1期目も残り半年を切り、目前の仕事を全力投球でやっていくということについては何ら変わりはありませんが、

印南町をもっと元気にしていきたい、地方創生を町民みんなで実現していきたい、という思いを強く持つており、次期町長選に立候補し、私の考えについて町民に信を問う覚悟を固めているところでございます。

次期町長選の出馬について正式に出馬表明をさせていただきます。

防犯カメラについて

質問 現在、4中学校に防犯カメラを設置されていますが、4小学校に防犯カメラを設置する考えはありますか。

現在、4中学校に防犯カメラを設置されていますが、4小学校に防犯カメラを設置する考えはありますか。

答弁 教育課長

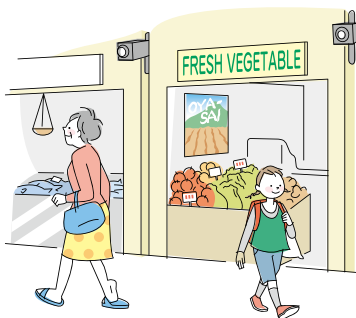
地域の方々、あるいは現場と協議をした中で慎重に検討していききたいと考えています。

質問 住民の安全安心を確保する効果はもちろん、犯罪から守るためにも公衆の安全や犯罪の未然防止などを目的として、犯罪の発生率の高いと見込まれる地区、商店街、駅周辺、不特定多数の人々が集まる地域の主要道路等に防犯カメラを設置する考えはありますか。

住民の安全安心を確保する効果はもちろん、犯罪から守るためにも公衆の安全や犯罪の未然防止などを目的として、犯罪の発生率の高いと見込まれる地区、商店街、駅周辺、不特定多数の人々が集まる地域の主要道路等に防犯カメラを設置する考えはありますか。

答弁 総務課長

犯罪の発生率の高いと見込まれる地域等については十分考えていきたい。



一般質問



消防団の処遇改善について

中島 洋 議員

質問 消防団の出動手当が消防活動と水防活動で金額に違いがあること、また、機械整備手

当が何年か前から見直され、人員ではなく車両台数により異なること、その違いと変更内容についてお聞きします。

答弁 総務課長

以前見直した内容等は、火災消火活動1回、6千円、但し誤報・消火済の場合、3千円、訓練、水防活動は1回、3千円であります。機械整備手当は平成21年度に見直し、点検に出勤した団員数1回2千円を車両一台月額1万円に、また、食料費等の見直しと、隔年の家族慰安旅行の廃止等であります。

質問 水防活動の手当は、火災の時の半額とのことですが、これは全く矛盾し見直していか

なければならぬと思います。先の台風11号の時も消防団の方々は、自分の仕事や予定を全てキャンセルし、火災の時と同様に増水した現場で、危険をかえりみず、排水活動を10時間以上も行っていただきました。なんら火災の出勤と変わらない出勤と思われませんが、いかがですか。

また、整備点検は有事の際に正常に作動するための大変重要な活動であります。団員の方々は仕事を休んで行ってくださっているのです。我々町民が安心して暮らせ、仕事に行けるのもこのような日々の活動のおかげだと思います。処遇を見直す

べきと考えますがいかがですか。

答弁 総務課長

団員活動につきましては、大変重要であり、感謝しているところであります。水防活動の重要性は、非常に高まっていると感じています。点検管理も同じです。

今後は近隣市町とのバランス等も図りながら、今一度検討を行っていきたいと考えます。

質問 現在、人員確保が難しいなか、若い方々に入団していただくためにも処遇改善を考えていただきたい。また、消防、

水防の長時間作業時の食事や水分補給は、混乱時の中大変ですが、十分な量と気配りで、団員の体調を損なわないよう対応

していただきたい。

答弁 総務課長

緊急事態時、どこまで対応できるかは別として、十分注意を払ってきたと考えています。

答弁 町長

私も30数年消防団でお世話になり、身をもって消防団活動の大変さを感じております。

可能な範囲、できるだけのこととはやっていくべきであると考えています。

また、議員の皆さんにも、お願いして、団員の



水防活動

方々の意見や考えを遠慮なく言っていただいて、ベストな対応を考えていかなくてはいけないと思っています。

委員会活動報告

総務産建常任委員会報告

◎村上 誠八 杉谷 考祥 前田 憲男
 ◎藤敷 利広 藤本 良昭 玉置 克彦
 ◎委員長 副委員長

「櫻川風力発電について」

8月21日、企画政策課3名、三井造船株式会社（印南風力発電事業株式会社）3名から説明を受けた後、現場を視察しました。

【経過】

平成22年頃印南町内への風力発電事業の提案がなされ、開発会社は風力調査の結果、櫻川地区が適していると判断し、平成23年6月頃から環境影響評価を実施し、平成27年6月に林地開発申請を行い、8月に環境影響評価の縦覧を実施しました。

【事業内容】

■事業者
 印南風力発電株式会社

はきめ細かな設計をしています。万が一災害が発生した時は会社が責任を持つことで調印します。

Q 設置機材の損壊が報告されていますが対策は？

A 雷被害や強度不足などあり得ますが、国の方針で点検指導が強化され安全性の確保に努めています。

Q 建設用地の雨水対策は？

A 林地開発の許可基準を満たすよう計画しています。

Q 隣接町への説明は？

A 南部町とも環境保全協定を締結し、一番近い東岩代や熊瀬川地区でも説明しています。

す。

Q 町へのメリットは？

A 2基分の土地の賃貸料と、20年間で固定資産税1基5千万円×13基分＝6億5千万円ですが、応分の地方交付税の減額があるものと想定し致します。

Q 機材搬入について

A 羽が約直径50m、搬入には道路改修も必要となりますので地域住民のご理解とご協力をお願いします。

Q 地元説明会で反対意見は？

A 8月8日の櫻川地区の総会ではありませんでした。

（委員長所見）

質疑応答の後、櫻川現地にて建設計画の説明を受けました。

町の基本見解として地元の誘致要望が根源であり、地元を補佐して行くのが町であるという説明がありましたが、地元の理解がなければ進展しないし出来ないものと判断いたします。

【委員会での質疑】

Q 28万㎡の残土処理が必要と聞いています。対策は？

A 建設時の事業対策



風力発電設置予定現場

印南町文化協会【カメラクラブ】



カメラクラブは、昭和48年文化協会設立時に写真クラブとして、故岩本荷水氏のもと、結成した協会の中心的存在です。基本的な活動は、文化祭とロビー展への出品が中心です。

日頃は各自、自由に撮影に出かけますが、年に何回かは、みんなで遠地へ親睦を兼ねて撮影の旅に出かけるのも楽しみです。

会食を楽しみながら、一年の反省会をするのも、長い間、続いています。現在は、13人の会員ですが、中には、郡内の他のクラブにも参加している人もおり、積極的な活動をしています。

その結果、国際的な賞を受賞した、花本サークル長をはじめとして、様々な分野で受賞した会員も多く、励みにしています。気楽で、縛りのないクラブです。ので皆さんも一緒にいかがですか。

現在の布陣は

サークル長	花本 嘉一
副	笹野 操
世話人	橋詰 秀一
会計	富田 秀和

一番大切なものは

カメラマンの「視点」

花本 嘉一

カメラマンとして大切なものはたくさんあります。カメラやレンズを始めとする撮影機材は、なくてはならない道具ですし、その道具を使いこなす撮影技術もやはり大切です。

もちろん活動的な撮影を続けるためには、健康でなければなりません。機材・技術・健康どれをとっても大切ですが、それらを大切なものと理解した上で、あえて一番大切なものを挙げるとすれば、やはり、それはカメラマンの「視点」ではないでしょうか。

前述3つの大切な要素が活かされてこないとからです。「視点」こそがカメラマンの命だと思えます。

以前、「取り直しを期待しないで、その日その時で、最高のシャッターチャンスを狙う」という写真家の話を聞いて感動しました。

大量に撮影できて、パソコンで画像処理の出来るデジタルの時代だからこそ、36コマの中で最高の瞬間を狙うフィルム撮影の緊張感は、大切にしたいものです。

あしがき

県民総参加、44年ぶりに開催された第70回「和歌山国体」も数々のドラマを残しつつ、成功裡にその幕を閉じました。

印南町も多くのボランティアの皆様のご協力のもと自転車ロードレース、成年男子・女子のゴルフ競技も無事終了することができました。

さて、印南町議会も新たな組織体制でスタートし、町民の皆様方の声をできるだけ反映できるように、議員一同頑張っておりますのでどうかよろしく願います。

メールアドレス

gikai@town.wakayama-
inami.lg.jp
TEL 42-1739
FAX 42-8055

議会広報特別委員会

委員長	榎本 一平
副委員長	中島 洋
委員	藤本 良昭
	藤薮 利広
	井上 孝夫
	前田 憲男